

服育net研究所



2023年度
報告書

服育 net 研究所について

服育 net 研究所は、服育に関する調査・研究、及び普及・啓発を進めるため設立されました。

誰にとっても身近で毎日必ず着用する衣服は、生活の基本であるだけでなく、

世界の様々な事柄とつながる「着る」以上の可能性を含むものです。

私たちはその衣服の力を一人でも多くの方へ伝え、

服育の輪を広げていきたいと考えています。

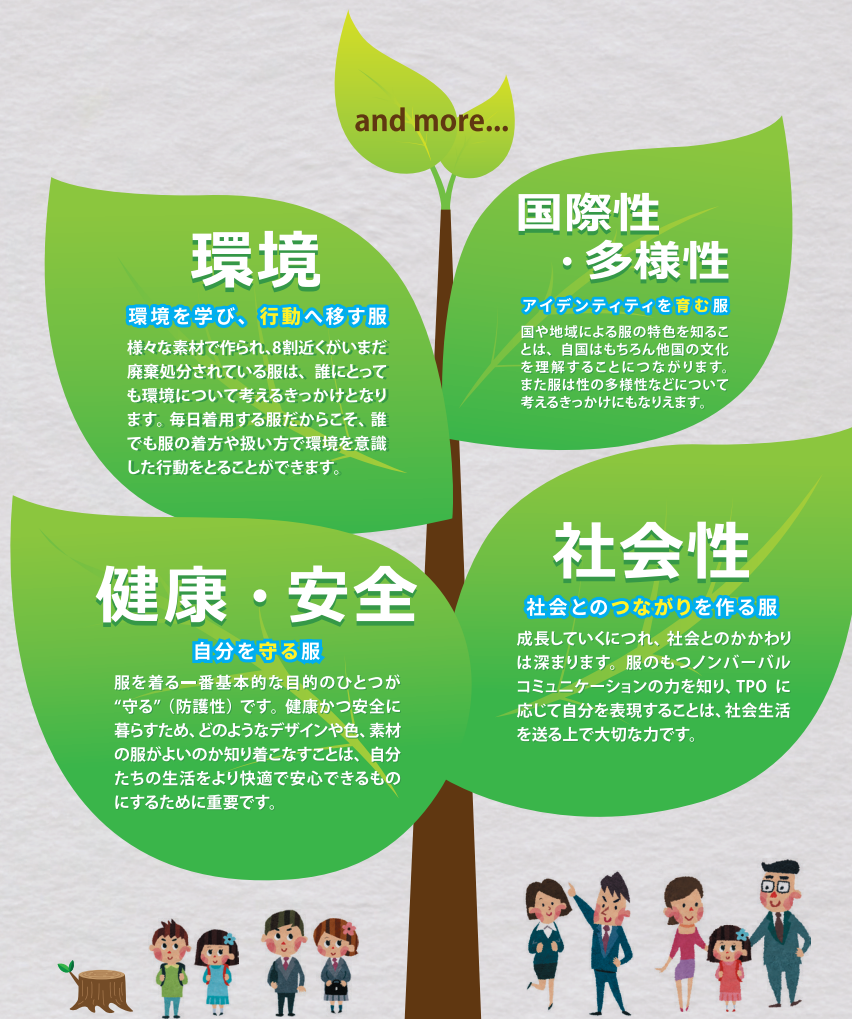
服育を通して生まれた衣服を大切に作る気持ちや衣服について考える思考は、

豊かなこころを育み、「生きる力」の醸成へとつながっていきます。

服育研究所の目的

■服育に関する調査・研究を行い、衣服の持つ力についてより多くの人へ伝えるべく服育の普及・啓発活動に取り組む。

■服育を通して豊かなこころを育み、生きる力の醸成へとつなげていく。



No.1

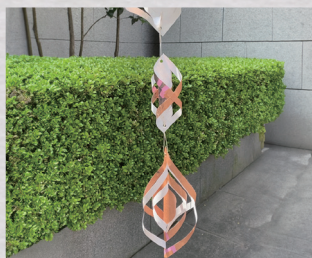
大阪中之島美術館 アップサイクルワークショップ

廃棄される予定だった大阪中之島美術館の巨大垂れ幕を
アップサイクルするワークショップを企画・運営しました。

第1回 2023年5月28日(日)

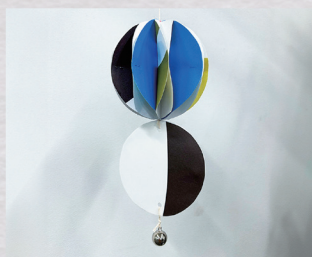
「開館記念特別展 モディリアーニ ―愛と創作に捧げた35年―」

「開館記念展 みんなのまち 大阪の肖像 第1期」の垂れ幕を、ハンギングオーナメントに。



第2回 2023年8月1日(火)

「大阪中之島美術館 国立国際美術館 共同企画 すべて未知の世界へ ―GUTAI 分化と統合―」の
垂れ幕をハニカムボール風鈴に。



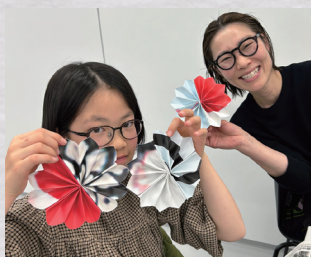
第3回 2023年11月19日(日)

「ロートレックとミュシャ パリ時代の10年」の垂れ幕をクリスマスフラワーツリーに。



第4回 2024年2月18日(日)

「開館1周年記念特別展 大阪の日本画」の垂れ幕をフラワーデコレーションに。



No.2

服育ラボ定期セミナー

服から始めるアップサイクル

～身近な衣服を、アイデアとパートナーシップでわくわくする何かへ～

日時：2023 年 8 月 4 日（金）13:30-16:00

場所：プリーゼプラザ 803・804

配信：ZOOM ウェビナー

第一部：講演

- ・京都工芸繊維大学 名誉教授 木村照夫
「テキスタイルのサーキュラーエコノミーとアップサイクル」
- ・株式会社カラー 代表取締役 内丸もと子
「色で素材を循環する Colour Recycle System」

第二部：事例紹介

- ・服育 net 研究所 有吉直美
「服育が進めるアップサイクルパートナーシップ」

パネルディスカッション

「子ども達の世界を広げるアップサイクル」



No.3

LGBTQ セミナー

「LGBTQ の存在を認識した上での学校教育」セミナーを日本各地で開催。

講演：専門家からのメッセージ／宝塚大学 看護学部 教授 日高庸晴

「LGBTQ の存在を認識した上での学校教育」

当事者からのメッセージ／わたる ※兵庫、熊本のみ

「スカート履いた僕～学校生活におけるセクシャリティ～」

DVD 上映：「LGBTs の子どもの命を守る学校の取組②当事者に寄り添うために～教育現場での落とし穴～」

（文部科学省特選）

●北海道

日時：2023 年 6 月 17 日（土）13:30-16:00

場所：TKP 札幌ビジネスセンター赤レンガ前 ホール 5C

主催：服育 net 研究所

後援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会



●兵庫

日時：2023年7月1日（土）13:00-16:00
 場所：ラッセホール ローズサルーン
 主催：服育 net 研究所
 後援：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会
 協力：兵庫県学校服協同組合



●熊本

日時：2023年7月8日（土）13:00-16:00
 場所：熊本城ホール 3階 A1
 主催：一般社団法人九州学校服会
 共催：九州服育研究会
 後援：熊本県教育委員会、熊本市教育委員会



No.4

修学旅行生の受け入れ（SDGs 研修）

修学旅行で大阪に来た子ども達に
 企業のSDGsに関する
 取り組みについて紹介。

- ・中学校 3校
- ・高等学校 1校



No.5

SDGs 学習への協力

地元企業インターワーク 私立高等学校 × Twice Plan

Twice Planの「地元企業インターワーク」に参加する学校のサポート企業として参加。生徒への課題は「30年後の生徒たちに届ける、人と地球環境にやさしい“未来の制服”を企画・提案すること!」。グループに分かれそれぞれにチクマや服育、衣服のことを調べ、“未来の制服”についてプレゼンテーションしてもらった。

No.6

全国の服育研究会とのコラボレーション

①京都服育研究会

京都府内において標語を募集。ポスターを作成し学校へ配布。
 テーマ：私の通学服

②九州服育研究会

LGBTQ セミナー開催。（詳細は No.3 LGBTQ セミナー参照）

③東京服育研究会

エコプロ 2023（東京ビッグサイト）に出展。



学びツール（服育教材）

グループワークツール

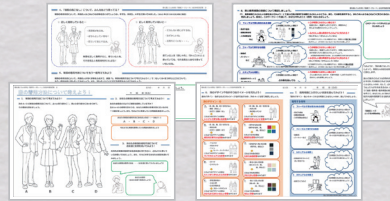
制服の一生すごろく

目的：制服の一生（原材料－縫製－着用－リサイクル・廃棄）すごろくを通して、制服のライフサイクルと各段階の環境影響について知り、環境のために自分にできることを考える。



NEW 【改訂版】服育着こなしワークシート

目的：「着装衣服と着用場面のふさわしさ」について考え、普遍性のある「着こなし」を身に付ける。
※一部内容とイラストを改定しました。



参加型ツール

・第14回服育標語ポスター

目的：制服についての思いを言葉で表現し、改めて制服について考えるきっかけとする。
テーマ：スクールユニフォーム
応募資格：特になし
応募総数：約 3200 通
最優秀作品：「みな同じ一歩踏み出し 心も一つ」



動画ツール

服育動画をYouTubeで公開。
自由に視聴し、授業等で活用。



個人ワークツール

衣服について楽しく学ぶことのできるツール。
ダウンロードしての活用も可。
・服育四コマまんが
・クロスワード



ものづくりツール

バトンバッグ・ローカルアクション

人と人をバッグでつなぐ「バトンバッグ」のスキームを日本国内で行う「バトンバッグ・ローカルアクション」をスタート。
未活用制服生地を活用し、福祉事業所でバッグに仕立て、それを購入した学校が自由にアップサイクルし、販売することで自分達の活動を広げていく。



No.8

学校での服育セミナー、服育授業

①制服着こなしセミナー

TPOの意味や制服をきれいに着こなすコツなどについて講演。主に新入生向けに、全国の小中高で開催。

②社会に出る前の着こなしセミナー

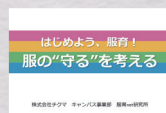
社会に出る前の生徒(高校3年生)に対して、社会人としての衣服(スーツ等)の意味やTPOに応じた着こなしについて講演。キャリア教育の一環としての依頼も。

③支援学校・支援学級でのセミナー

支援学校や支援学級に通う障がいを持つ生徒向けに、服の着こなしの大切さやポイントについて分かりやすく説明。セミナー後に自分達で服のコーディネートを考え、ファッションショーを行う学校も。

④「守る」をテーマにしたセミナー

衣服の「守る力」について、防災や健康の視点から私達にできることについて講演。



No.9

教職員研修への講師派遣

西日本私立小学校教員研修会

日時：2023年5月26日(金)



No.10

メディア取材・掲載

新聞「朝日小学生新聞」

2024年2月9日(金)

デキルまなびのキホン

服を題材に学ぶ「服育」自分の身を守り、環境に気配り



No.11

その他 情報発信

①学校向け情報誌「SORA」

隔月発行、主に教育関係者を対象に配布



②企業向け情報誌「TAKE」

季刊、主に企業を対象に配布



③メルマガ「fukuiku e-journal」

毎月発行



④服育ホームページ

<http://www.fukuiku.net/>

⑤服育 facebook

<https://www.facebook.com/fukuikuchikuma/>

⑥服育チクマ instagram

https://www.instagram.com/fukuiku_chikuma/?hl=ja



服育 net 研究所

株式会社チクマ キャンパス事業部

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 3-3-10

tel.06-6222-3511 fax.06-6222-3614 e-mail fukuiku@fukuiku.net

服育ホームページ <http://www.fukuiku.net/>